

## 第40回インナーゼミナール大会

### 研究計画書

<b>ゼミ名</b>	高ゼミⅡ
<b>チーム名</b>	THE KOZEMI SHOW
<b>タイトル</b>	携帯電話産業におけるグローバル化
<b>テーマ群</b>	d) 国際経済
<b>メンバー</b>	◎稲垣翔、井上大地、王瑞龍、大原文 香川詩織、永野優子、前田卓也、安田篤郎
<b>研究計画内容</b>	<p>みなさんが普段何気なく使っている携帯。世界から見ると日本製の携帯は独特な発展・進化を遂げているために“ガラパゴス携帯”と呼ばれていることを知っていますか？</p> <p>日本の携帯メーカーは高い技術力を持っているにも関わらず、その独特さ故にメーカー別世界シェアのグラフを見てみると日本メーカーの名は載っておらず、ランキング外のその他の部類にくくられてしまいます。</p> <p>私たちはこのような携帯電話産業の流れを掴み取り、なぜこのメーカーは成功したのか、なぜ失敗したのかななどの疑問点を掘り下げ、そして最後に今後の携帯電話産業がどのように進んでいくのかを伝えられることを目標にしています。</p> <p>ここ数年間のメーカー別世界シェアの流れのグラフから読み取れる大きなポイントが3つ見つかりました。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① フィンランドのノキアがずっとシェア一位に君臨していること。</li><li>② 韓国のサムスンがシェアをぐんぐん伸ばしていること。</li><li>③ 日本のメーカー全てランキング外になっていること。</li></ol> <p>これらメーカーはなぜこれほどまでの差が生まれてしまったのか、経営戦略の観点から比べて何を実施したことにより成功したのか失敗したのかをおさえていきます。特に日本と韓国は同じアジアということで境遇は似ているはずですが。それなのになぜここまで圧倒的な差がついたか、ポイントを対比することにより謎を明らかにします。</p> <p>そして最後にこれからの携帯電話産業界の核になっていくであろうスマートフォンを話題に取り入れ、この大きく変わろうとしている産業に日本やその他の国はどう対応しているのか、日本は現状から這い上がり逆転することができるのか！？</p> <p>乞うご期待♪</p>